

16 旧中山道コース 駒込駅—板橋本町駅 6.6km

江戸随一の園芸の里の栄華をしのぶ

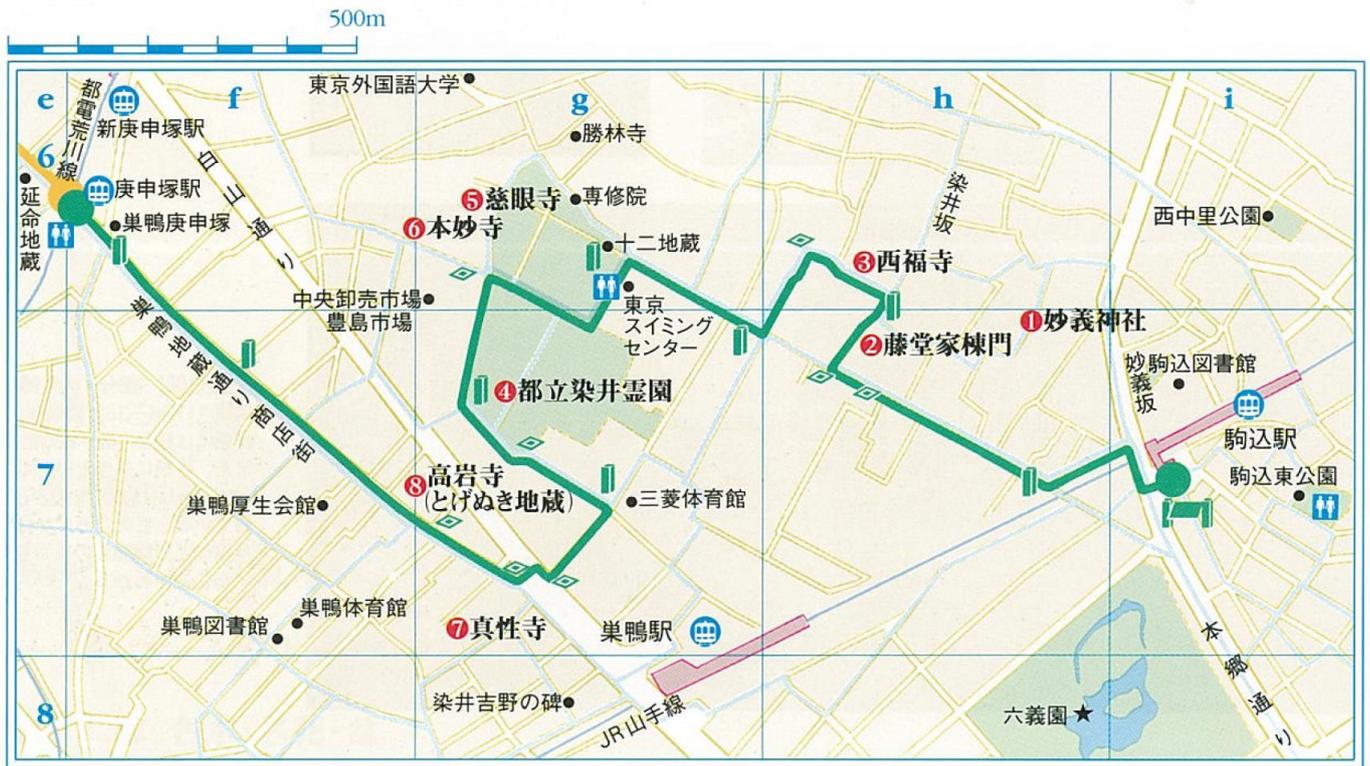
慶^{けい} 長^{ちやう}7年 (1602) に整備された中山道^{なかせんどう} (現在の旧中山道) は、古くから西国と東国を結ぶ要路としてすでに活発な行き来が行われていたという。江戸時代、参勤交代でこの街道を往く大名の休泊所として数々の宿がつくられ、とくにその中心・板橋宿^{いたばしじゆく}周辺は宿場町としてにぎわいを見せた。木曾街道^{きそ}もしくは木曾路ともよばれるのは、島崎藤村^{しまざきとうそん}の『夜明け前』の舞台となった木曾山中を通ることに由来する。

▶ このコースでは、旧中山道沿いに、江戸の郊外にありながら園芸の里として栄え、ソメイヨシノ発祥の地とされる巣鴨^{すがも}界隈を散策し、かつての宿場町の面影がのこる板橋駅周辺をめぐる。むかしからほぼかわらぬ道幅でつづく旧街道を歩き、巣鴨と板橋の地が江戸文化に与えた影響をさぐるのもおもしろい。



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。

16-a 染井吉野ゆかりの地散歩 駒込駅—庚申塚駅 3.0km



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。

16-b 板橋宿場散歩 庚申塚駅—板橋本町駅 3.6'



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。